

各 位

平成 17 年 10 月 7 日

会 社 名 八千代工業株式会社
代表者の役職氏名 取締役社長 大竹 茂
(JASDAQ・コード 7298)
問 い 合 わ せ 先 常務取締役 杉山 幸右
T E L 04-2955-1211

PZEV 対応の樹脂製自動車用燃料タンクの開発 商品化

当社は、自動車排気ガス規制基準で最も厳しい、米国カリフォルニア州における燃料系からの蒸散 HC 排出量規制 (ZEV 規制) に適合する、PZEV 仕様の樹脂製燃料タンクの開発に成功し、今秋 9 月より量産を開始した。

※PZEV 規制 (54mg/車/日排出量) は、LEV II 規制(500mg/車/日排出量)に対して、燃料系からの蒸散 HC 排出量の大幅削減を目指したものの。

近年、自動車用燃料供給システムを取り巻く環境は、北米地区における環境基準の強化、永年耐久性能の保証、衝突安全性の向上、新車開発ニーズから求められる軽量化、デザイン多様化等に対応する技術要望から、樹脂製燃料タンクが鋼板製燃料タンクに取って代わってきており、北米地区では主流となってきた。樹脂製タンクの中でもガソリン透過を抑制する性能を有した 4 種 6 層ブロー成形樹脂製燃料タンクの適用が、蒸散 HC 排出量を削減する最も有力な手段のひとつとされている。

当社は、業界トップレベルの成形能力を持つ成形機 6 基で、現在生産能力約 200 万台を有している。しかしながら、今後樹脂製燃料タンクの適用を拡大する上で、タンクからのガソリン透過抑制性能をさらに高め、PZEV 基準に適合する技術 (燃料透過防止対応技術) を確立することが最重要課題であった。

本開発は、燃料タンクに用いられる全ての樹脂部品材料を、新規開発のガソリン低透過材に変更することで、PZEV 基準を達成することができた。この結果、現在の製造工程を全く変えることなく同一設備での生産を可能とした。

この新 PZEV 対応の樹脂製燃料タンクは、本田技研工業(株)の北米仕様ハイブリッド車に搭載、10 月発売される。当社は、今後この技術の北米 PZEV 仕様車への適用拡大を目指す。

記

【特徴】

主な開発内容

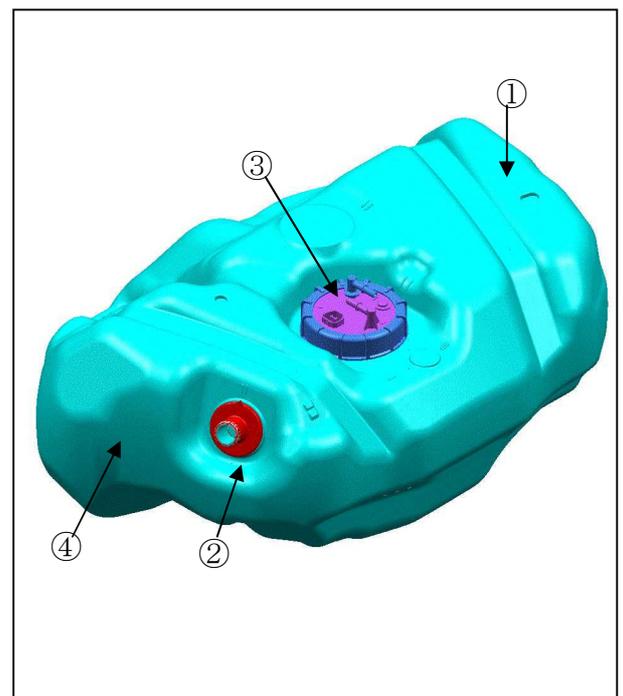
- ① 燃料タンク本体からの透過を抑制するために、現在バリア材として使用されている EVOH の低エチレン化による低透過化
※EVOH…透過防止材エチレンビニルアルコール
- ② タンク本体に溶着される子部品の低透過材と変性 HDPE(高密度ポリエチレン)の 2 色成形品の開発による低透過化
- ③ ポンプシールパッキンの改良による低透過化
- ④ ブロー成形時のピンチオフ形状の最適化による低透過化

【生産概要】

- 量産開始時期 2005 年 9 月
- 生産数量 2000 台/月

【PAT】

- 4 件出願中



以 上